

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
小平・東大和・武蔵村山	小平市、東大和市、武蔵村山市、小平・村山・大和衛生組合	平成 2 7 年度～令和 3 年度	平成 2 7 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	8,759t	8,536t	8,674t	40.0%
	1 事業所当たりの排出量	0.85t	0.82t	0.94t	△302.9%
	生活系 総排出量				
	1 事業所当たりの排出量				
	合 計 事業系生活系総排出量合計				
再生利用量	直接資源化量				
	総資源化量				
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)				
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

ごみ処理の目標に対する未達成の要因については、以下のとおりである。

### 1 事業系排出量及び1事業所当たりの排出量について

総排出量の目標値 8,536t に対し、実績が 8,674t であり、事業者への排出者責任への徹底を促すとともに、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言による事業者の時短営業等の経済活動の自粛から、年々総排出量は減少傾向にあり、特に令和2年度は大幅な減少にあった。しかし、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の回復が一定程度図られたことにより、排出量が増加し、目標値ほどの減少には至らなかった。また、1事業所当たりの排出量の目標値 0,82t に対し、実績が 0,94t であり、事業所数の減少に比べて、総排出量と同様の事由により、目標値ほどの減少には至らなかった。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで（第2期計画目標年度）

目標を達成できなかった指標については、以下の方策等により、第2期計画の目標年度までに達成するようにする。

### 1 事業系排出量及び1事業所当たりの排出量について

- (1) 事業者へのごみ減量・分別の徹底等の普及啓発を行う。
- (2) 3Rの促進のため、事業系一般廃棄物処理手数料の見直しを行う（武蔵村山市は先行して令和3年7月に見直し済み）。
- (3) 拡大生産者責任に基づき、製造、加工、販売等に関する3R促進に努めるよう普及啓発を行う。

(都道府県知事の所見)

事業系について、総排出量は減量となったが目標値には達しておらず、1事業所当たりの排出量は現状を上回った実績量となっている。については、次期計画において目標達成となるよう、上記「3 目標達成に向けた方策」等を確実に実施することで、ごみ発生抑制及び減量化が進むことに期待する。